

2024年2月14日

住友生命保険相互会社

## GX 経済移行債「クライメート・トランジション利付国債」への投資について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、本日入札が行われた日本政府が発行する GX 経済移行債<sup>※1</sup>「クライメート・トランジション利付国債」（以下「本債券」）へ投資を実行しました。本債券は、脱炭素社会への移行を目的に発行される世界初の国債となります。

産業の競争力を強化しつつ、2050年カーボンニュートラルの目標を達成するため、今後10年間で150兆円超の官民投資が必要であるとされています。本債券は、「GX推進法」<sup>※2</sup>に基づき発行され、今後、民間からの投資を拡大させる呼び水となることが期待されています。

具体的には、非化石エネルギーの拡大、製造業における産業構造の転換や省エネの推進、脱炭素化に資する新技術の研究開発等に対し、国による先行投資の実施に活用される見込みです。

住友生命は、日本政府が掲げる2050年カーボンニュートラル実現のためには社会全体でのトランジションの推進が重要であるとの考えのもと、本債券への投資を決定しました。

※1 GXとはグリーントランスフォーメーションの略で、化石燃料の使用を削減し、クリーンエネルギー中心の社会へと転換させる取組みを指します。

※2 「脱炭素成長型経済構造への円滑な移行の推進に関する法律」を指します。

### 【本債券の概要】

債券名称	クライメート・トランジション利付国債
期間	10年

住友生命は、資産運用を通じて、環境・社会へのポジティブなインパクトの創出に取り組んでおり、中長期の安定的な運用収益確保に加え、脱炭素および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

### 【本債券を通じて貢献すると想定される主なSDGs項目】

